

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【公開番号】特開2017-190117(P2017-190117A)

【公開日】平成29年10月19日(2017.10.19)

【年通号数】公開・登録公報2017-040

【出願番号】特願2016-185133(P2016-185133)

【国際特許分類】

B 6 0 K 7/00 (2006.01)

B 6 0 G 3/28 (2006.01)

【F I】

B 6 0 K 7/00

B 6 0 G 3/28

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

【図1】本発明の第1実施形態になるインホイールモータ動力線の配線構造を示す模式図であり、車幅方向内側からみた状態を表す。

【図2】第1実施形態を示す模式図であり、車両前方からみた状態を表す。

【図3】第1実施形態を示す模式図であり、車両上方からみた状態を表す。

【図4】インホイールモータ駆動装置を示す模式図であり、車幅方向外側からみた状態を表す。

【図5】インホイールモータ駆動装置を示す横断面図である。

【図6】インホイールモータ駆動装置を示す展開断面図である。

【図7】インホイールモータ駆動装置およびサスペンション装置を模式的に示す縦断面図である。

【図8】インホイールモータ駆動装置および動力線を示す模式図であり、車両後方からみた状態を表す。

【図9】インホイールモータ駆動装置および動力線を示す模式図であり、車両上方から転舵軸線方向にみた状態を表す。

【図10】インホイールモータ駆動装置から動力線およびスリーブを取り出して示す模式図であり、上方から転舵軸線方向にみた状態を表す。

【図11】インホイールモータ駆動装置から動力線およびスリーブを取り出して示す模式図であり、車幅方向にみた状態を表す。

【図12】本発明の第2実施形態になるインホイールモータ動力線の配線構造を示す模式図であり、車幅方向内側からみた状態を表す。

【図13】第2実施形態を示す模式図であり、車両前方からみた状態を表す。

【図14】第2実施形態を示す模式図であり、車両上方からみた状態を表す。

【図15】本発明の第3実施形態になるインホイールモータ動力線の配線構造を示す模式図であり、車両前方からみた状態を表す。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0089

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 9】

次に本発明の第3実施形態を説明する。図15は本発明の第3実施形態になるインホイールモータ動力線の配線構造を示す模式図であり、車両前方からみた状態を表す。この第3実施形態につき、前述した実施形態と共通する構成については同一の符号を付して説明を省略し、異なる構成について以下に説明する。第3実施形態では、各動力線93の一端がインホイールモータ駆動装置10の動力線接続部91と接続し、各動力線93の他端が車体101まで延びる。各動力線93の一端から他端までの間には、インホイールモータ駆動装置側領域93h、中間領域93i、車体側領域93jがこの順序で連なっている。